

令和8年度 山県市立伊自良北小学校 学校経営全体構想

第4次県教育ビジョン
・自立力・共生力・創造力
「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

学校の教育目標

かしこくて あたたかくて たくましい子

第3次山県市教育振興基本計画
すべての子どもが「成長」を実感する教育の展開
・実体験で得た感性や経験知を基に「自分の正解」を粘り強く表現する力の育成
・違うことをしていても一緒にいられる学習空間をつくり、個別最適な学びと協働的な学びを構築する。

<児童の実態>

○明るく素直 ○ルールを守り、役割を果たす
○全校仲良く活動できる
・問いに対し粘り強く取り組む等、主体的に学びに向かう姿。
・夢や目標をもち努力をすること、自己有用感・自己効力感、自信の向上。

めざす児童の姿 「たくましさやさしさをもち、夢に向かって輝く」(きらり)

- ・自分の力で課題に向かい、あきらめずにやり抜くことができる子
- ・相手の立場や考えを尊重し、多様な人々と協働できる子

・自ら学ぶ子

・進んで関わる子

・自ら鍛える子

「自分の考えを深めようとする子」
「学びを言葉や行動で表そうとする子」

「豊かな人間関係を築く子」
「地域とつながり役割を果たそうとする子」

「困難から逃げないで挑戦する子」
「心身の健康を大切に前向きに生活する子」

考えが深まる学びづくり

1 体験を「学び」に高める教育の推進（探究学習）

- ・課題の設定、情報の収集、整理分析、まとめ表現の探究のプロセスで学びを深める（思考・表現力）
- ・総合的な学習や各教科で地域とつながる探究学習の実施（銀杏）
- ・学びの振り返りを重視

2 少人数を生かした個別最適な学びの推進

- ・学習内容・進度・方法を選べる自己調整力をつける学習の工夫
- ・アウトプット（書く・話す）の確保
- ・基礎基本の学力の確実な定着（自分学習と全校漢字チャレンジ）

3 山県学園構想に基づく合同授業など切磋琢磨で深い学び

- ・合同授業や交流を通して多様な考え方に触れ、学びの質を深める
- ・小規模校の刺激の不足を補い、学習意欲と向上心を高める

4 情報教育の充実（ICTを活用した学びの深化）

- ・タブレットを活用した調べ学習、記録、発表、振り返りの実施
- ・情報活用能力と、AIリテラシーの育成

あたたかい人間関係づくり

1 いじめを許さない風紀づくりと温かい居場所づくりの推進

- ・日常的な見取りと対話を大切に、よりよい人間関係を築く力を育成
- ・心に寄り添い、良さを引き出す支援（アンケート、教育相談、SC活用）
- ・ほっとする「北小ラウンジ」の活用

2 道徳教育の充実と人権教育推進

- ・自分と他者を大切にすることを育てる道徳授業の蓄積
- ・多様性を包括する人権感覚の育成（福祉施設訪問、合唱発表など多様な人との協働 日常的道徳教育）
- ・人権・平和シリーズ学習の実施

3 地域と共に学ぶ全校活動の充実（十六拍子、銀杏活動、歌声）

- ・SW-PBSの理念のもと、全校で取り組む活動の充実（銀杏、自己有用感）
- ・地域とつながり、働く意味を知る、感謝の心をもつ、伝統継承の取組

4 自己効力感を高める活動と活躍の場づくり

- ・一人一人が役割に誇りをもち、認め合う学校文化「きらり」の醸成（いつでもあいさつ、自慢の体力、ららら歌声、「すてきな木」の取組）
- ・行事や日常活動で「出番のある学校」
- ・異学年交流、全校活動、地域や他校との連携活動等を計画的に実施

たくましい心と健康づくり

1 「挑戦」を育てる体験活動の実施

- ・銀杏活動、竹燈籠作り、花咲きホールを活用した発表会等、仲間と挑戦する経験の場を意図的に設定
- ・失敗やつまずきを成長につなげる振り返りを重視した指導 キャリアパスポートの活用

2 防災学習の体系的な実施

- ・地域と連携した「防災シリーズ学習」の実施、自分の命を守る力を育成
- ・「命を守る訓練」、災害時の行動を自分事として考える学習（DIG）の実施

3 体力向上、運動習慣づくりの推進

- ・日常的な遊びや体を動かす活動の充実
- ・全校で取り組む運動の充実（北小チャレンジ）
- ・外遊びの機会を保障（放課後遊び）

4 歯と口の健康づくりを中心とした健康教育の充実

- ・歯みがき指導、食育と関連付けた学習
- ・自分の体と健康を大切にする意識の育成（学校医や歯科医等の関係機関や家庭との連携）
- ・基本的生活習慣・食育・アレルギー対応等、個に応じた支援
- ・学校環境衛生活動の推進
- ・学校歯科活動の推進

「安全で安心できる学校」

○児童の命を守りきる体制づくりと地域との連携強化

- ・地域ぐるみの防災教育の推進
- ・自ら危険から身を守る力の育成、登下校の安全指導の徹底
- ・地域との連携の強化（スクールサポーターズ・小中連携）
- ・教員の高い危機管理意識・保護者との共通理解

○実効性のある「危機管理マニュアル」の見直しと運用定着

（自然災害・動物災害・各種警報対応・熱中症・不審者・情報セキュリティ対応等）

「地域とともにある学校」

○地域のよさや特色を受け継ぎ、ふるさとへの愛着と誇り、感謝と貢献の気持ちを育む（十六拍子、銀杏活動、歌声）

- ・地域貢献活動の推進（クリーン活動、プール掃除、夏祭り等）
- ・自分たちの願いや工夫を活かした探究型学習活動の実施

○「総合的な学習の時間の指導計画」の地域との共有

- 地域資源（ふるさと）を活用した学習を教科横断的に実施（異学年集団や全校活動で 人権・平和学習 合唱で思いをつなぐ）

教職員の合言葉：「チーム北」「ゴールは幸」互いに理解し、高まりのある組織人を目指す。

- ・教師としての感性を磨き信頼される職員集団を目指す。（礼儀・品格・期限厳守・挨拶・師弟同行・報連相）
- ・保護者や地域との信頼関係を大切にする。（コンプライアンスの遵守）
- ・伊自良三校の連携による教育活動と計画的に教職員研修を推進する。（教科の授業研究）
- ・立場や多様な働き方を理解し合い、互いを支え合う温かい職員集団を目指す。
- ・専門性を高め、対話と協働で子どもの主体性を育てる。
- ・月45時間以内の時間外勤務の徹底を図る。